

三日間の非日常

in Kobe & Osaka

神戸港



生田神社



待ちに待った10月17日、素敵な添乗員さんのお出迎えから修学旅行がスタートしました。少年隊の怒涛のボケと、それらを全て華麗に拾う添乗員さんのやり取りがあって長いバスの旅を楽しく過ごすことができました。各場所ができた由来や歴史も面白かったのですが、3日間で特別心に焼き付いたのは各場所での景色です。春野では見られない建物の数々に目が回るかと思いました。特に写真の4つがとても綺麗で、事前学習をした際にタブレット越しで見た時を遥かに上回る感動が体中を巡りました。インターネットでどこにでも行ける現代ですが、その景色を自らの肉眼で目にすることに大きな価値があるのだと思います。

姫路城



六甲山





美味しかったお料理の数々



お品書き

オムドリア
チーズフォンデュ
酢豚
鶏肉の
カシューナッツ炒め
エビマヨ
秋のあじわい

旅行前、景色を見るまで一番の楽しみだったのが食事。惜しくも一位を逃しましたが、同等に感動したのが食べ物です。初日は元町の中華料理屋さんでコース料理をいただきました。続々並ぶ料理を見て食べて思ったのは、肉や小麦を使った料理が多いこと、そして、日本の料理と少しばかり味が異なることです。調べたところ、中華料理には和食とは全く違う香辛料が使われており、独特の辛さや甘さがあることがわかりました。私はこの味がわりかし好みです。時期が秋だったので、旬のお芋や果物、魚などが料理の中にふんだんに使われていて、とても美味しかったです。各地の料理を味わっているとき、旅をしている実感があって、とても楽しく、とても嬉しく、とても幸せで、今回の旅行に携わってくれたすべての人への感謝が込み上げました。